

7月号

ハニ養だより



青森県立八戸第二養護学校

令和8年6月19日

「備えあれば憂いなし」 校長 西里 俊文

5月22日（金）に引き渡し訓練、6月11日（木）に避難訓練を実施しました。これらの訓練は、主に以下の目的で行われました。

<引き渡し訓練の目的>

児童生徒 指示に従って、安全かつ速やかに避難する。また、災害発生時に学校での教育活動が困難になった場合は、保護者またはうみねこ学園職員への引き渡しがあることを知る。

保護者のみなさん 引き渡しの手続きを理解し、円滑に対応する。

教職員 災害発生時の避難および引き渡しの方法について確認する。児童生徒が待機する際の手立てや工夫の仕方について考察する。

<避難訓練の目的>

児童生徒 ・指示に従って、安全かつ速やかに避難する。

・火災から身を守るための態度や習慣を養う。

教職員 ・火災発生時の退避・避難の方法を熟知する。

・危険箇所を避け、より安全に避難する方法について確認する。

どちらの訓練でも、子どもたちは先生の指示をよく聞き、落ち着いて行動していました。整列して歩くなど、普段の学習の成果が生きていると実感した瞬間でした。また、集合場所でもクラスごとに並んで静かに待つことができおり、子どもたちの確かな成長を感じました。

私が教諭として勤務していたときに、東日本大震災が発生しました。その日は卒業式で、幸いにも子どもたちは下校した後でした。しかし、翌日からの臨時休業や学校再開に向けた準備に追われる中で、「災害に対する備えは普段から行っておかなければならない」と肝に銘じたのを今でも鮮明に覚えています。その後、学校での引き渡し訓練が本格的に開始され、現在に至っています。

今年度の避難訓練では、基本を大切にしながらも、様々な場面を想定した体験を通して課題を検証し、日々の備えに生かしていきたいと考えています。その一環として、今回の避難訓練では普段使用していない「非常階段」を使いました。移動にどれくらいの時間が必要か、子どもたちや職員が落ち着いて対応できるかなどを確かめる貴重な機会となりました。

「備えあれば憂いなし」ということわざがあります。この言葉通り、日頃から万全の安全対策を講じ、子どもたちへの指導を徹底してまいります。

